

# 三重県電気工事協力会創立35周年 三重県電気工事業工業組合創立15周年

# 記念特集



三重県電気工事業工業組合  
三重県電気工事協力会  
発行人 繁田 劭  
編集責任 広報委員会

会報 20号  
記念特集号

## ご挨拶

三重県電気工事協力会会長  
三重県電気工事業工業組合理事長

繁田 劭



本日、三重県電気工事協力会創立三十五周年と、三重県電気工事業工業組合創立十五周年記念大会を挙行いたしましたところ、名古屋通商産業局、公益事業部長殿を始め来賓多数のご臨席を賜わり誠に有難く厚く御礼申し上げます。

わが三重県電気工事協力会は昭和二十一年七月、創立当時五十六名で発足をいたしました。昭和三十一年には三五〇名となり、昭和四十一年には六二六名、本年三月末には九四二名となり創立当時の約十七倍と、大きな協力会と発展して参

りました。工業組合は昭和四十一年五月、中小企業団体組織法により設立認可を得て発足現在は協力会と同数の組合員が加入しております。協力が発足当時は三重県の主要都市が戦災で焦土と化した直後、早期復興が要望されたが、当時の電気工事業界は混乱いたしており統制のとれた安全な工事も出来ず、それに加えて電気工事材料もなく電気工事はほとんど無法状態でありました。

当時の中部配電株式会社御指導で、配電会社と電気事業者が一体となって組織された協力が発足、爾来名古屋通商産業局を始め三重県御当局、中部電力株式会社のご指導とご援助により今のような大きな協力会として発展して参りました。

我々電気事業者は電力会社と需要家のパイプ役となり、電気事業者としての社会的責任を自覚し、需要家へのサービスの万全を図るとともに技能の向上を目指し、安全意識の徹底を期し、産業の発展と国民生活の安定に寄与する所存でございます。

三重県は他県と違います。

ことは、協力会、工業組合の両団体の人格を尊重してはいますが、両団体の役員構成が同一役員で運営されておりますので、団体間は極めて円満に運営されております。

教育事業や各種講習会等も両団体で合意のうえ計画実施いたしておりますから数多くの行事が実施できることは喜ばしい限りであります。

今回の創立記念大会の記念事業として業界発展のため後継者育成を目的として青年部の設置、さらに本年は国際障害者年でありますので大会費を削減して身体障害者のために金一封を三重県御当局に贈ることに決まりました。小額ですが少しでも身体障害者のお役に立てば幸いと存じます。

本日の御来賓と会員、組合員のみならず、今後共よろしくご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

終りに臨み御来賓のみならずと会員、組合員各位の御健勝と御繁栄を心から祈念いたしましたこと挨拶いたします。

昭和56年10月16日



ごあいさし

顧問 中部電力株式会社  
常務取締役津支店長

和田 愿

本日、ここに三重県電気  
工事協力会創立三十五周年  
ならびに、三重県電気工事  
業工業組合創立十五周年を  
迎え盛大な記念式典を開催  
できましたことを、皆々様  
方と共に心からお慶び申し  
あげます。

かえりみますと、三重県  
電気工事協力会は、昭和二  
十一年七月戦災で荒廃した  
電気設備の復興と電気工事  
業界の秩序回復のため、津  
市で会員数五十六店で発足  
され、爾来、今日まで先輩  
各位のご努力により会員数  
も飛躍的に増加、五十六年  
三月現在九百四十二店を数  
えるに至りました。

今日のような大きい組織に  
発展されましたことは、歴  
代役員の方々をはじめ、皆  
々様一人ひとりの一致協力  
となみなみならぬご努力の  
賜物であり誠にご同慶にた  
えません。

申すまでもなく当協力会  
は中部電力と皆々様方電気  
工事業者が一致協力して適  
正な電気工事を遂行し地域  
社会に奉仕するとの崇高な  
理念をもって発足いたしま  
したが、このような立派な  
組織は他電力管内に類をみ  
ないものでございます。

五年を迎えられることは、  
電気工事業界幹部の方々の  
高い指導性と会員各位の強  
い団結力の表われであり、  
これらのご努力に対して深  
く敬意を表する次第であり  
ます。

三十五年と一口に言いま  
しても、この間には、電気  
事業法、電気工事士法、電  
気工事業法の制定や日本経  
済の発展とともに迎えた好  
景気時代、また、暗転して  
オイルショックにはじまる  
景気の後退と社会情勢のと  
めどない幾多の変動があり  
ました。

昨年、景気の先行きが、  
不透明であり、極めて不安  
定な時代になっております  
が、このような時代にこそ  
皆々様の業界組織が一段と  
結束を強化して経営の合理  
化、新技術の導入、技能の  
向上、安全福祉の向上など  
多くの課題に対処すること  
が必要であり、これらを解  
決できるのは、当協力会、  
工業組合の組織の力である  
と思っております。

私といたしましても、皆  
々様方の業界の発展のため  
微力ながら、できる限りの  
ご協力をさせていただき所  
存でございます。

これひとえに皆々様方の  
ご支援、ご協力の賜物と心  
から厚くお礼申しあげる次  
第でございます。

さて、中部電力も、おか  
げさまで、本年五月創立三  
十周年を迎えることができ  
ました。

このため、私共といたし  
ましては、本年は非常に重  
大な年であることを肝に銘  
じ全員一丸となって、全県  
民の皆様方のご理解をうる  
努力をいたしております。

後ともますます発展され、  
電気工事業界の社会に対す  
る使命を存分に果たします  
ことを期待いたしまして、  
私の心からのお祝いの言葉  
といたします。

るものであります。  
とりわけ思い出されるの  
は、何と申しまして、あ  
の昭和三十四年九月の伊勢  
湾台風による復旧作業でこ  
ざいます。甚大な被害を受  
けました電力設備の復旧に  
あたり、全会員が寝食を忘  
れて、ご協力を賜り早期に  
復旧できましたことは、永  
く歴史に残るものと信じて  
おります。

と生活文化の向上とともに  
電気消費量は、年々増大  
し、今日では創立当時の二  
十倍にもなっております。  
この消費量の増大にこたえ  
るため、当社では、全社を  
あげ発電所づくりを進め電  
力の安定供給の使命を全う  
してまいることができまし  
た。

の建設期間を考えあわせる  
と、本年は、地元の方々の  
合意をどうしても得なけれ  
ばならない重要な年であり  
既に、ご承知のとおり、尾  
鷲地区については、六月に  
増設促進方を、また、四日  
市、川越地区については、  
八月に発電所の新增設なら  
びにLNG基地新設を地元  
に申入れいたしております。



祝 辞

名古屋通商産業局  
公益事業部長

平野 睦弘

本日、ここに三重県電気  
工業業工業組合の創立十五  
周年並びに三重県電気工事  
協会の創立三十五周年記  
念式典が挙行されるにあたり  
一言お祝い申し上げます。

三重県電気工事協会は  
県下の電気事業者を主体  
として中部電力株式会社  
の引込線工事を受託するた  
め、戦後早々設立され荒廃  
した配電設備の復興に大い  
に寄与されました。

その後は増大する電力需  
要増加工事を円滑に処理さ  
れるとともに、台風等の災  
害復旧に会員挙げて電力供  
給の確保に協力されました  
功績は誠に大きいものがあ  
ります。また、三重県電気  
工業業工業組合は県下の中  
小電気事業者の企業経営  
の改善発達を図るため、工  
事協会の会員を主体に昭  
和四十年十月に設立され、  
今日まで会員の経営基盤の

強化、技術の向上、福祉の  
向上等のため種々の事業を  
活発に実施され業界の発展  
に多大の成果を挙げてこ  
れたものであります。

このように工事協会の及  
び工業組合が共に今日のよ  
うにますます隆盛しており  
ますのは、ひとえに時代の  
推移を的確に把握され適切  
な運営を図ってこられた歴  
代の役員の皆様方と会員各  
位の固い結束の賜と深く敬  
意を表する次第でございます。

今さら申し上げるまでも  
なく、電気工業は国民生  
活と産業活動に不可欠なも  
のである反面、その工事方  
法を誤ると感電、火災等の  
電気災害につながるもので  
あります。  
従って、日進月歩と変革  
の激しい工事材料、工事方  
法について研鑽を従来に増  
して実施していただき、電

気災害の撲滅に御尽力下さ  
いますようお願いいたします。

また、最近、エネルギー  
の安定確保のためエネルギ  
ーの多様化、特に原子力発  
電の推進等が強く叫ばれ、  
国としても電源開発促進の  
ための諸施策を省エネルギ  
ーの推進とともに積極的に  
展開しておりますので、今  
日お集りのエネルギーと関  
係の深い皆様にも御理解の  
うえ何かと御協力下さいま  
すようお願いする次第で  
す。どうか、工事協会の、

工業組合の皆様方におかれ  
ましては創立三十五周年並  
びに十五周年を契機とされ  
まして更に結束を強められ  
業界の振興と地域の発展に  
一層の御尽力を賜りますよ  
う御願ひ申し上げますと  
もに業界のますますの御繁  
栄と会員皆様方の御繁栄を  
心から祈念いたしましてお  
祝いの言葉といたします。



祝 三重県電気工事協会 創立35周年  
祝 三重県電気工業業工業組合 創立15周年

電設工事の安全と省力化に奉仕する

電設用・機械・機材・工具・専門商社

(送電)(発電)(地中線)(配電)(通信)(内線)

寺西商事株式会社

本社	名古屋市西区秩父通1-65	TEL <052> 521-2211(代)
津市	津市乙部2140	" <0592> 26-3327(〃)
長野	長野市稲葉北村東沖2683-1	" <0262> 28-2040(〃)
岐阜	岐阜市加納上黒町1-4	" <0582> 74-1041(〃)
名古屋	名古屋市南区道德本町3-62	" <052> 692-5566(〃)
富山	富山市大泉北町10-5	" <0764> 91-2023(〃)



# 祝 辞

三重県知事

田川 亮 三

このたびは三重県電気工事業工業組合創立十五周年並びに三重県電気工事協力会創立三十五周年を迎えられましたことは、誠に御同慶の至りであり心からお祝い申し上げます。

三重県電気工事協力は、昭和二十一年七月戦後の混乱期において国民生活に欠くことのできない電力保安の確保と、県民サービスの向上のため県内の電気工事者、電力会社、保安協会、等五十六名で発足され、今日九百五十二名の会員に発展されたのであります。

更に日本経済の高度成長期に入り、家庭電化製品の急激な普及と、住宅建設の急増により、電気工事業者の技術、保安面の能力確保が重要となり、昭和四十一年五月に中小企業団体の組織に関する法律に基づき、三重県電気工事業工業組合として、県内の電気工事業者五百二十八名が結集され組織を図るとともに業界の発

展に一段とご尽力を賜わって参りました。

以来着実に諸般の事業を推進され今日まで大きな成果を収められたのであります。が、時に昭和三十四年九月東海地方を襲った伊勢湾台風の災害復旧作業には寝食を忘れ業界あげて早期送電に積極的に協力され民生の安定に大きく貢献されました。

事業面では電気工事業法に基づき登録業務を促進し、電気設備安全運動を毎年一回実施され、更には昭和五十一年三月に組合会館を建設されたほか、各種の研修会、研究会、講習会等を精力的に開催され常に組合員の保安技術の育成、向上に努めてこられました。また、電力の適正使用を通じて県民に対し省エネルギーに関する啓蒙を推進されるなど誠に時宜を得た事業活動をも展開され深く感銘をいたしております。

今日の工業組合並びに協

力会の隆盛は組合員皆様方の強固な結束のもとに繁田理事長を中心として役職員皆様の並々ならぬご努力の賜であり、その労苦に対して深く敬意を表する次第であります。

さて、ご承知のとおり我が国の経済動向は輸出の増加に加え個人消費、建設産業等も、低水準ながら回復過程の兆がみられますが、地域や業種によりばらつきが見られ、内外ともに依然として厳しい状況にあります。

とくに現下の中小企業にとりましては「量から質への転換」を迫られるなど、技術力の向上、企業活力を生み出す設備投資の円滑化、人材の養成の確保を中心に「技術と知識の時代」に適應した体制づくりが強く要請されているところであります。

中小企業のソフト資源の充実、エネルギー対策の推進など時代の要請に応じた政策展開を今後積極的に進めてまいりたい所存であります。

なお記念式典において、大会の経費を節減され県に對し多額の障害福祉のため寄付金をご贈呈願うことをうけ賜わり感激いたしました。

改めて衷心より厚くお礼申し上げます。 終りに工業組合並びに協会の益々の御隆盛と組合員各位の御健勝をお祈り申し上げます。

祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
祝 三重県電気工事業工業組合 創立15周年



あなたの企業のパイオニア  
電設資材総合商社

## 大成電機産業株式会社

本社 津市島崎町 209番 2  
電話 津 <0592> 28-9339番  
津営業所 四日市営業所 伊勢営業所

お祝いのごあいさつ



中部電気工事協力会連合会

会長 井上丈太郎

さわやかな秋を迎え、こ

こに三重県電気工事業工業組合創立十五周年ならびに三重県電気工事協力会創立三十五周年記念式典が盛大にとり行なわれましたことを心からお祝い申しあげます。

顧みますれば、三重県電気工事協力会は、戦災で四日市市など主要都市の大半が焦土化していた昭和二十一年七月に発足されて以来満三十五年を迎えられたわけでございます。

この間戦後の混乱期から最近の石油危機に至るまで常に全会員の団結のもとに幾多の試練を乗り越えられ今や、会員数は九四〇余店を擁する立派な組織に成長され今日の隆盛をみるに至

りました。中部電気工事協力会連合会といたしましても、誠に大きな慶びとするところでございます。

また、昭和四十年十月に三重県電気工事業工業組合が創立され、協力会と、表裏一体となって運営の万全をはかられ、今日の発展を遂げられましたことは、誠に同慶にたえません。

協力会と工業組合が相携え合い、電気工事業界の中核体として果たされた功績は誠に大きなものがございます。これは偏に歴代役員各位をはじめ、ご列席の皆様方の並々なご努力の賜であると衷心より敬意を表する次第でございます。

一口に、十五年、三十五年と申しますが、この間、

電気工事業法の制定あるいは近年における電気に対する依存度の高まりなど電気工事業界をとりまく諸情勢は大きく変遷し、業界の社会的役割は益々重要度を増してまいりました。

当地区は四日市を中心とする総合化学工業地帯あるいは伊勢、志摩の大観光地帯、また尾鷲地区などの電源地帯もあり、近年飛躍的に発展してまいりました。

この間、皆様方は時代の变化に即応して、地域社会の発展に対応されるとともに、電気工事の技能向上に絶ゆまぬ努力を重ねてこられました。その結果、皆様方業界に

対する社会的評価は非常に高くなりましたことを皆様方とともに誇りに思う次第でございます。

また、本年度の経済動向につきましては、一時は景気底入れ宣言が行なわれましたものの、その後の動きはあまり芳しくなく、電力需要面でも、民生用需要、産業用需要とも全般的に低迷しており、依然として厳しい情勢にあります。

このような厳しい環境に対処してゆくためにも、協力会、工業組合の果たすべき使命は益々重要になってきているものと考えます。

過去幾多の試練を克服されました皆様方の英知とその経験を生かされ、明日への飛躍に向かって、さらにまい進されることを確信しております。

終りにのぞみ、通商産業局及び三重県ご当局ならびに電気工事業界のご指導にあたられた関係機関各位に御礼を申しあげますとともに、組合員、会員の皆様方の発展を祈念いたしまして私のお祝のごあいさついたします。

電設資材総合卸

アイランプ・水銀灯  
アイ住宅商業用照明器具

 **三愛電機株式会社**

松阪市春日町1丁目37番地

電話 0598-23-1144 代表

# ごあいさつ

三重県中小企業団体中央会

会長 大村武次



三重県電気工業組合の創立15周年、ならびに三重県電気工事協会の35周年おめでとうございます。

組合員、会員の皆様とともにお喜び申しあげます。景気はすでに底入れし、回復過程にあるとは申しますものの、私ども中小企業には一向に実感のわかぬ情勢が続いております。

建設業界の一角を占める電気工業界にも深刻な影響を及ぼしつつあります。中小企業界全体にとりましては、他人事ならぬ事態であり憂慮にたえませ

ん。このように先行き不安定なときこそ、中小企業は一層の団結力を発揮し、機動

# お祝いのことば

(社)三重県建設業協会

会長 秦 三生



このたびは三重県電気工業組合並びに三重県電気工事協会の、十五周年あるいは三十五周年の記念すべき輝かしい年を迎えられ記念特集会報を発刊されるにあたり、一言お祝いのことばを申し上げます。

また一方、三重県電気工事協会の結成された昭和二十一年は、戦後の荒廃した混とんたる世相の中で、

貴業界は言うに及ばず、あらゆる産業分野で一日も早い秩序の回復が切望された時でもありました。こうしたわが国戦後におけるそれぞれの大きな転換期に、貴組合並びに貴協力が設立されたということは、まことに意義が深く、その背景のもとに、その後それぞれの設立のご趣旨に則り、業界の発展をめざして、技術経営の向上、情報の提供、調査研究、事業の合理化等に絶えざる努力を積み重ねてこられたのであ

りませんが、今や本県建設産業界の中であって、名実ともに主要な地位を占められ、一方、エネルギーの中でも最も重要な電気供給事業の各種工事を通じて、貴組合並びに貴協力が地域社会発展のために果たしてこられた業績は、真に大きく、ここに深く敬意を表するところであります。

これも歴代役員各位、会員諸氏並びに関係者ご一同のご尽力の賜であり、またわが建設業協会の友交団体としても常に協力いただき、誠にありがとうございました。心から厚くお礼を申し上げます。

ところで、昨今建設産業界をめぐる環境はまことに厳しい局面を迎えておりま

された昭和四十一年は、時あたかもわが国の経済が高度成長期に入り、家庭電化等のめざましい普及とともに、電力需要が飛躍に高まり、また、核家族化に伴う住宅建築が急増しつつあった時であり、貴業界にとつては、その対応にあたって技術・保安面等の能力確保が切実な課題とされた時期でありました。

精神と積極的な相互扶助の

「活力ある多数派」といわれる中小企業は旺盛な自助精神と積極的な相互扶助の

精神のタテ糸とヨコ糸によって組織されることによつて一層の力を発揮いたしま

ります。国、県の施策とともに私どもの中央会におき

「技術と知識で」活路を開く時代であります。

教育、情報、人材養成なども重要な課題となつてお

す。財政再建を至上命令とする政府方針はもとより、第二次臨時調査会の答申にもみられますように、新しい局面は再度訪れた一大転換期と申しても過言ではあり

ません。貴業界は、私ども古い歴史の建設業界とは発生形態も発展形態も異なる独自の道を辿つてこられたとはいえず

の有機的連絡協調体制が十分でなかったことに思いをいたし、この新しい時代の難局を乗り越えていくためには、建設関連各種業が今こそ相提携し、その果すべき社会的使命と責任の分担を再認識し、節度とルールを守り、社会的地位の向上と近代化への脱皮に心掛けなければならぬと痛感するのであります。

経済界多難の秋ではありますが、創立15周年あるいは35周年という皆様方の組織の足腰は活力充分と存じます。これを契機に、一層団結を強化され、ご精進されますようお祈りして、お祝いのことばといたしま

す。

お願ひいたします。

経済界多難の秋ではありますが、創立15周年あるいは35周年という皆様方の組織の足腰は活力充分と存じます。これを契機に、一層団結を強化され、ご精進されますようお祈りして、お祝いのことばといたしま

す。

# お祝のことは



全日本電気工事業

工業組合連合会

会長 米沢 外秋

今回三重県電気工事業工業組合創立十五周年記念大会が挙行されるにあたり、記念特集号が発行される運びになりましたことを心からお喜び申し上げます。

ご存知のように、三重県電気工事業工業組合は、中小企業団体の組織に関する法律一の規定に基づき昭和四十一年五月に設立認可をうけ、当初電気工事業を営む組合員五二八名で発足されましたが、現在では九四〇名と飛躍的に増加し、出資金におきましても三、二九七万円に増額されております。

さらに昭和五十一年三月には組合本部の本拠といふべき組合会館（土地五七〇坪、建物約一五四坪）が建設され、組合組織の基盤が

いっそう強化されました。

組合事業としては電気工事用資材を共同購買し、組合員にあっせんするほか、教育指導事業として、ガス、アーク溶接講習会、電気技術及び安全に関する講習会ならびに積算等の経営セミナーの開催等により、経営面の指導に力を注ぎ、組合員の経営安定に貢献されております。

また昭和五十二年二月には一般用電気工作物の保守管理業務を行う法人として名古屋通商産業局の承認をうけ、現在需要家の受託拡大に努力され、技術営業の拡大と一般需要家の保安確保に努力されておりますことは周知のとおりでございます。中小電気工事業者が大部分を占める電気工事業

は、住宅建設の低迷等により現在不況業種に指定されておりますが、組合組織の力と経営の近代化により、きびしい難局を克服されていくことを切望いたします。

幸い繁田理事長を始め、優れた指導者がおそろいでありますので、電力会社ならびに電気保安協会及び電気工事協力会との協調のもとに今後いっそう発展されますことを祈念し、お祝の辞といたします。

祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
三重県電気工事業工業組合 創立15周年

## よりよい工事によりよい材料



電線・ケーブル・照明器具  
高低圧受配電盤・オートメ機器・配線器具  
電気設備設計・自家用計画監督官庁への諸手続・火災報知設備設計のご相談もお受けします。

### 株式会社 扇港電機商会

〒510  
本社 四日市市北浜町8-16  
TEL (0593) 51-1101 (代)

- 一宮 ● 春日井 ● 名・北 ● 名・南
- 桑名 ● 名・中村 ● 名・天白
- 四日市 ● 名・津 ● 名・緑
- 上野 ● 鈴鹿 ● 松阪 ● 伊勢
- 習志野 ● 千葉

# 特集

(1)

## 協力会35周年を迎えて

三重県電気工事協力会は創立以来、本年度で満35年を迎えます。

会員ならびに諸先輩の永い期間の輝かしい活躍の積み重ねが今日に至っておるもので、この機会に「35年の歩み」を特集しようとする組みましたが、何しろ永い歴史についての記録などは一部散逸しているものもあり資料不足もやむを得ませんが、幸い中部連合会発行の「25年の歩み」と一応現存する資料を参考に特集いたしました。

資料整理中、特に活躍されました諸先輩の方々の中にはすでに物故された会員名を拝見いたしました。この機会に改めて心からのご冥福をお祈りいたします。

### 「創立当時の状況」

昭和21年7月23日、津市の新町小学校講堂において創立総会が開かれ、会則、ならびに基本方針を決定、スタートした。創立総会時

の参画会員数は56店と記録されており、現在会員数を思えば驚異的な発展ぶりであります。……当時三重県

下の桑名、四日市、津、伊勢などの都市で市街地の大半が空襲を受けて焼野ヶ原と化し、荒廃した戦後の混乱期を背景に戦災復興に国民全般が追いまくられた時代……電気工事業界においても同様、点在するバラック住宅などへの点灯、被災工場の復活と相まって電力設備の改修、新設工事が焦眉の急とされ、旺盛な工事需要であった。

一方昭和10年10月1日から施工されてきた「電気工事人取締規則」を敗戦とともに効力が失なわれたことにより業界の取締りが全く野放しとなり、ベンチ一つ持てば、だれでも工事ができるといふ無法に近い事態となっていた。

この免許制度の廃止により不良工事が目立ち、併せ

て使用する材料の規制もなく無届、不適正工事が横行、工事業者の安全意識も極めて低調であった。

このような世情が電力会社と電気工事業界との協調連携を深めるキッカケとなり「不良工事は業者自らの手で駆逐しよう」……と業

界識者先輩のみなさんの考えが「電気工事協力会」組織結成へと発展したものである。会則の目的にもあるよう

「一般需要家に対する電気保安の確保とサービスの向上を図るとともに、工事業者の技術水準の向上と会員相互の親睦、電気工事を過じて社会に奉仕する理念」で工事者と当時の中部配電協とが一体となった組織が発足したもので、三重県では初代会長が当時の中部配電津支店長の「村瀬包治」氏で業界からは「藤



昭和38年5月の協力会定時総会（於四日市商工会議所）



昭和54年5月の協力会定時総会（於津建設会館）

田定保」氏（野上電機）、「鈴木喜一郎」氏（鈴木電機）「伊東直作」氏（当時、東海電気工事津支社長）らが設立に参画して活躍された貴重な記録が残されている。

### △歴代会長▽

- 村瀬 包治(21/7/21~8)
- 寺田 義勝(21/8/23~7)
- 梅田 俊雄(23/7/27~3)
- 杉江 克己(27/3/28~6)
- 宇田 弘道(28/6/29~7)
- 河津吉兵衛(29/7/30~7)
- 白井 端(30/7/32~5)
- 高橋 彦蔵(32/5/34~2)
- 神尾 静夫(34/2/36~6)
- 川端 太郎(36/6/40~5)

繁田 劬(45/5/現在)と歴代中部電力津支店長が40年5月まで就任され40年5月/45年5月までは会長空席となり、その間繁田代表理事が就任、45年5月から現在の体制となっている。

この間幾多の苦難と試練に対し会員相互が手をたづさえて乗り切り、驚異的な発展を遂げ、輝かしい歴史を飾ることができたのも、会員全員の創立理念達成への努力の賜である。

なお第一年度からの参画

【9ページへ続く】



【8ページより続く】

会員は、昭和21年7月の創立時は56店、同年10月にさらに参加され71店となっている。

当時の地区別会員数はつぎのとおりであった。

津地区	六店
久居	二店
上野	三店
名張	なし
松阪	六店
大台	なし
尾鷲	一店
伊勢	一〇店
鳥羽	なし
鵜方	二店

四日市	一四店
富田	七店
桑名	九店
員弁	なし
鈴鹿	六店
亀山	五店
計	七二店

その後の会員数推移は別表のとおり。  
 ちなみに中部電気工事協力会連合会の発足は昭和21年9月1日となっている。これは各県協力会の事業運営の連絡および調整を行なう必要からスタートし、今まで個々に独立していた各県の業者たちが、協力会連合会の場を通じ固い連帯

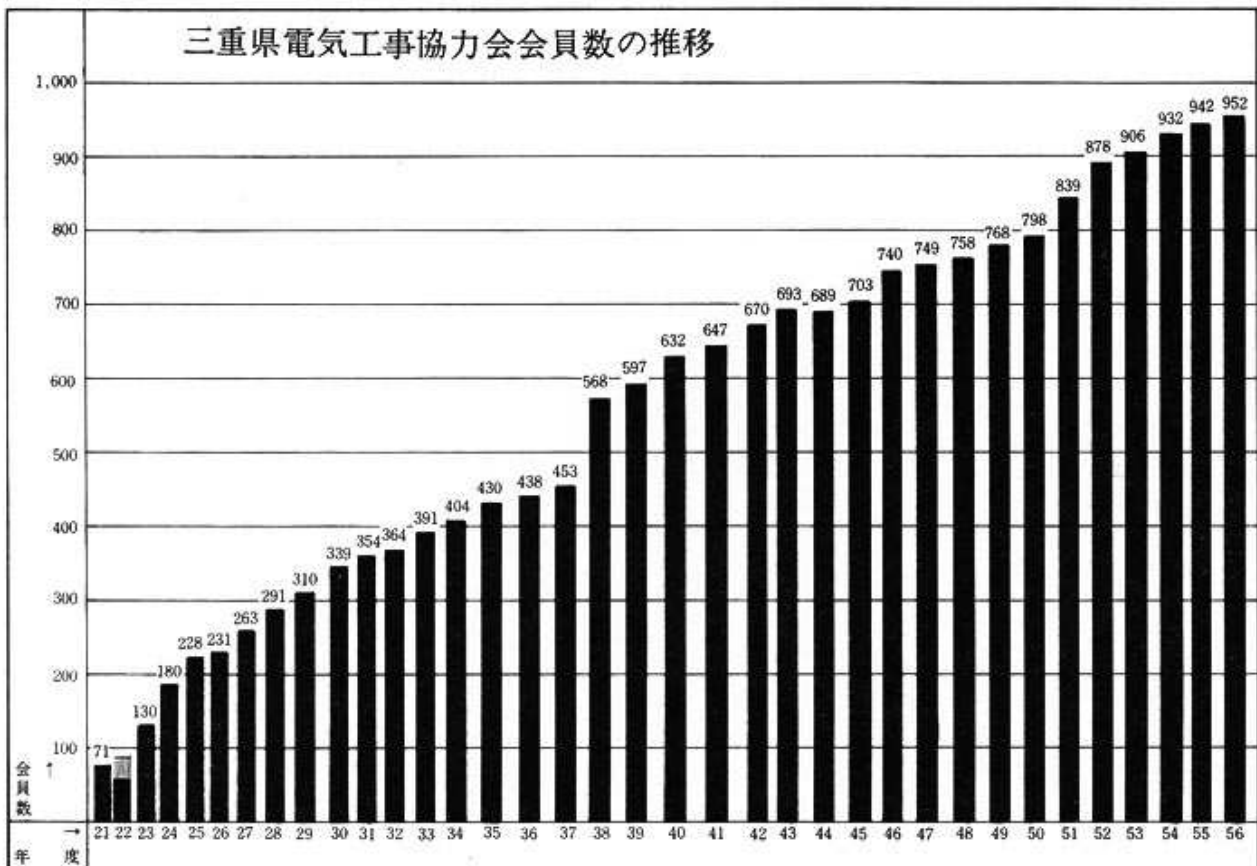


昭和38年当時の役員一同（於東海原子力発電所）

30	29	28	27	26	26	23	22	21	21	21	21
・5	・7	・6	・3	・6	・5	・7	・4	・9	・8	・23	・23
衛氏」就任	会長「河津吉兵衛氏」就任	会長「宇田弘道氏」就任	会長「杉江克己氏」就任	会長「梅田俊雄氏」就任	「中部配電」↓	「中部電力」と電力再編成により名称が変る。	現在の「引込委託店制度確立」(一四〇店が契約した)	会長「村瀬包治氏」就任	会長「寺田義勝氏」就任	中部電気工事協力会連合会発足	引込および計器工事の委任店制度発足(五十九店)

(10ページへ続く)

三重県電気工事協力会会員数の推移





各地区で自主的に実施されている昇柱訓練

45・5      43・7      43・5      41・5・19

「内線工事自主点検制度」設定  
会長「川端太郎氏」辞任  
「繁田劭氏」代表常務理事に就任  
第一回「引込および内線工事技能オリンピック大会」開催(関連記事別項のとおり)  
創立20周年記念大会を津市三重会館で開催  
「引込委託店安全推進会議」を設置し、安全施策の確立、推進と、災害防止をはかることとした。  
小規模工事処理対策の確立  
(現在の小規模センター業務)  
会長「繁田劭氏」就任



各地区で盛んな親睦行事 (四日市でのソフトボール大会)

(9ページより)

.....

彰制度「設定十  
一店表彰」  
会長「白井端氏」  
就任  
電気工事士認定  
講習会の実施  
(経験5年~10  
年未満者は36時  
間、10年以上者  
は18時間講習)  
会長「高橋彦蔵  
氏」就任  
会長「神尾静夫  
氏」就任  
伊勢湾台風襲来  
(県内の施設は  
壊滅的な打撃を  
受け、一三五回  
線の配電線全部  
が停電という空  
前の大被害、仮  
復旧完了までの  
十日間はまさに  
寝食を忘れる  
程の突貫復旧工  
事、その後も懸  
命な努力を尽す  
中部電力の片腕  
となって、協力  
会全員が活躍し  
た。  
電気工事士法公  
布  
昭和35年制定さ  
れた電気工事士  
法施行規則に基  
づき、さきに実  
施した認定講習  
会合格者(五八  
一名)が電気工  
事士の認  
定を  
受け  
た。  
会長  
「川  
端太  
郎氏  
」就  
任  
協力  
会報  
一号  
発行



救急訓練も各地区で.....

50・2・21      49・10・24      45・5・23      45・5  
「計器工事委託店」制度新設  
「電気工事業の業務の適正化に関する法律」公布  
「三重電業」発足  
「三重電業」新築、創立以来長らくお世話になった中  
部電力柳津支店より移転  
創立30周年記念大会開催  
ケーブル端末処理講習会を各地区で開催(延三七名受講)  
シークェンス講習会を各地区で開催(延五〇七名受講)

# 引込および内線工事

## 技能オリンピック大会

### || 活躍の歴史 ||

三重県電気工事協力会主催の技能オリンピック大会も本年度第十七回を迎えたが、会員ならびに従業員の電気工事技術ならびに技能の向上を図り、電気設備における公共保安の確保と需要家サービスの向上に資する目的で、毎年各地区から

十チーム参加により技を競い、さらに上位チームの中郡連合会大会への参加と年々新しい技能向上に取組みすばらしい成績が樹立されている。

第一回からの活躍の歴史は別表のとおりとなっている。



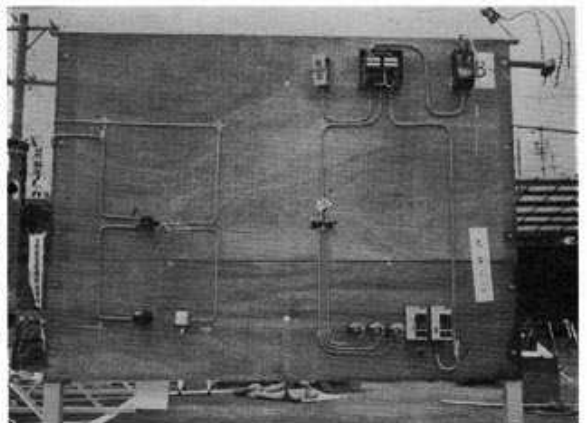
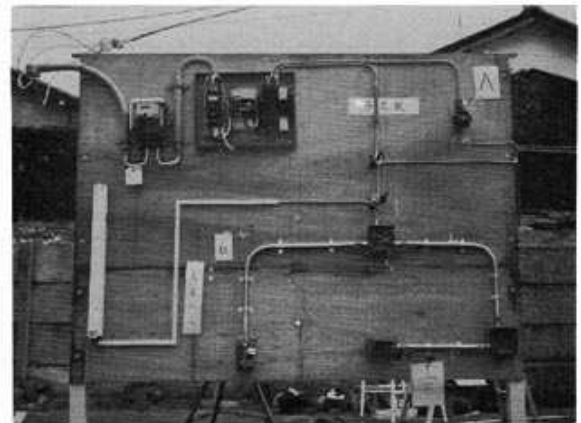
技能オリンピック大会にて (昭和55年度)

第一回大会の記事が新聞で報道された一部です(40:9:3)

県電気工事協力会主催、第一回電気工事技能オリンピック大会は、三年前九時三十分から鈴鹿市住吉町大池で開かれた。



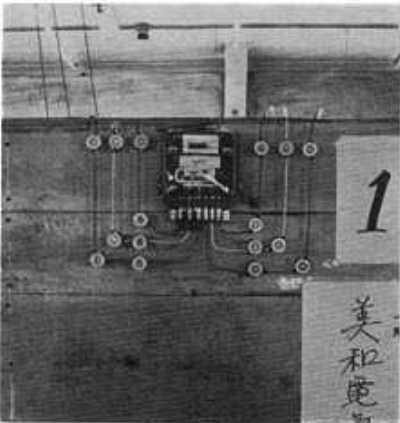
電気工事技能オリンピックの審査  
同協力は、「よい材料よい工事」をモットーにして電気工事のサービスと技術向上につとめている。



右側は昭和55年度第十六回大会完成分

電気工事方法もこのようになりました

左側は昭和41年度第二回大会完成分



技能オリンピック大会記録

回数	年月日	会場	入賞チーム名
1	40. 9. 3	鈴鹿市住吉町大池地内	① 鳥羽市 ... 美和電 ② 津市 ... 美和電 ③ 四日市 ... 美和電
2	41. 10. 4	東海電気津支社	① 鳥羽市 ... 美和電 ② 四日市 ... 美和電 ③ 伊勢市 ... 美和電
3	42. 9. 20	同上	① 四日市 ... 藤三東 ② 津市 ... 藤三東 ③ 津市 ... 藤三東
4	43. 10. 8	同上	① 四日市 ... 藤美池 ② 鳥羽市 ... 藤美池 ③ 松阪市 ... 藤美池
5	44. 9. 11	中部電力・社員研修所	① 津市 ... 三天神 ② 富田 ... 三天神 ③ 松阪市 ... 三天神
6	45. 10. 8	東海電気・社員研修所	① 津市 ... 三藤三 ② 四日市 ... 三藤三 ③ 松阪市 ... 三藤三
7	46. 10. 7	三重県立津専修職業訓練校	① 伊勢市 ... 星尾吉 ② 伊勢市 ... 星尾吉 ③ 伊勢市 ... 星尾吉
8	47. 9. 27	同上	① 四日市 ... 大日伊 ② 久居 ... 大日伊 ③ 伊勢市 ... 大日伊
9	48. 10. 16	津市	津市 ... 三加重 四日市 ... 三加重
10	49. 10. 24	三重県立津専修職業訓練校	① 四日市 ... 村親村 ② 松阪市 ... 村親村 ③ 松阪市 ... 村親村
11	50. 10. 26	四日市市	四日市 ... 大東電 桑名 ... 大東電
12	51. 10. 14	伊勢市二俣町(伊勢寮)	① 伊勢市 ... 松本電 ② 伊勢市 ... 松本電 ③ 伊勢市 ... 松本電
13	52. 10. 6	津電気会館	① 大伊勢 ... 大伊山 ② 伊勢市 ... 大伊山 ③ 伊勢市 ... 大伊山
14	53. 10. 6	同上	① 伊勢市 ... 岡大北 ② 伊勢市 ... 岡大北 ③ 伊勢市 ... 岡大北
15	54. 10. 4	同上	① 四日市 ... 橋北地 ② 四日市 ... 橋北地 ③ 四日市 ... 橋北地
16	55. 10. 7	同上	① 四日市 ... 四大員 ② 四日市 ... 四大員 ③ 四日市 ... 四大員
17	56. 10. 7	同上	① 四日市 ... 林田電 ② 津市 ... 林田電 ③ 松阪市 ... 林田電

# 特集

(2)

## 工業組合15年の歩み

昭和40年10月26日、津市商工会議所において、創立総会が開かれた。

設立同意者五二八名によって県下の電気工事業者の組織として、「中小企業団体組織に関する法律」の定めによる組合の設立。

この総会決議に基づき諸手続きを進め翌、昭和41年5月21日付にて三重県知事認可を得て正式発効、諸登録を済ませ法的な業界団体としての事業を展開し今日に至っている。

組合設立趣意書による設立の目的にはつぎのとおりうたわれている。

「我々中小企業は、つねに日の目をみない階層として、その経営の不安定になやんでおります。

わが電気工事業界においても、業者の大部分零細企業者であり、多くの複雑な問題をかかえております。

それは企業体質の改善、経営の合理化、安定化等の切実な問題であり、きわめ

て不安定な経営をつづけております。

ここにおいて、三重県内電気工事業界有志は、数回にわたり、これが対策について協議を重ね、多数の同業者の与論をも考慮し、この際、中小企業団体組織法にもとづく、工業組合を設立することが、必要であることを痛感させられたのであります。

よって、ここに三重県電気工事工業組合を結成し業界の大同団結をはかり、企業改善発達、計画の樹立自主的な調整事業等の積極的な推進により、われわれの不安定な経営を立直らせることが必要であり、これが本組合設立の主要な目的であります。」

当時第48回国会において電気工事業に関する規制法案が準備され登録制などの案が審議され以降継続審議が繰り返され、昭和45年5月23日法律第96号として公布された「電気工事業の業

務の適正化に関する法律」となったが、この法の制定を見通しての組織強化ならびに登録業務の推進と併せて業界の安定化合理化などを主な事業として発足したものである。

「工業組合の主な事業史」  
40・7・1 組合設立事務

開始

40・7・16 設立発起人会

(設立趣意書立案)

40・8・6 設立発起人会

(同意加入状況協議)

40・10・4 設立発起人会

(創立総会案審議)

40・10・26 創立総会開催

(設立同意者一五二八名)

理事長「繁田功氏」就任

40・12・27 設立認可申請

提出

41・5・21 三重県知事より設立認可

41・10・26 中部電気工事業組合連合会結成加入

41・12・1 全日電工連加

入

41・12・8 各委員会決る

(会報編集委員会)

(技術委員会)

(工事準備委員会)

(苦情処理委員会)

41・12・12 三重県消防設備士会設立総会

42・7 三重県電気工業組合会報創刊

42・9 工事準備委員会

42・9 工事準備委員会の調査審議事業開始

45・3・13 積算講習会

45・3・14 (四日市・松阪会場)

45・5・23 「電気工事業の業務の適正化に関する法律」公布

45・8・21 業法に基づく登録業務開始

46・5・1 中部電気工事業厚生年金基金設立加入

47・4・1 「業法推進委員会」設置—指導員委嘱

48・8・23 オイルショックによる電線資材等の高騰に伴う電気工事業界の「危機突破全国大会」に参加

48・10 「全国家庭電気設備安全運動」開始 (以降毎年実施)

49・2・26 「危機突破中部大会」に参加

49・5 委員会制度改

(総務委員会)

(技術委員会)

(経済委員会)

(広報委員会)

(厚生委員会)

と現在の委員会制度となる

49・7 経済委員会により工量制導入

50・2・21 三重県電気業会館竣工、事務局移転

50・5 「東海電友共済会」へ加入

51・1・13 「出資組合に移行」知事認可となる

(経済事業実施のため、七四八名の同意出資組合となる)

51・3 第一回登録更新完了(五八三件)

51・5・25 創立十周年記念大会

51・11・1 「三重県電気工業業共済会」発足、同時に第三者損害賠償補償保険給付事業を開始

52・2・15 共同保守管理業務受託法人認可 (名古屋通商産業局長承認)

受託組合員七七六名、保守技術員九八六名

この承認を得るまでには定款の変更登記、保守技術員の認定講習会等を

.....

(14ページへ続く)



毎年組合員全員で行っている安全運動

49・5 委員会制度改



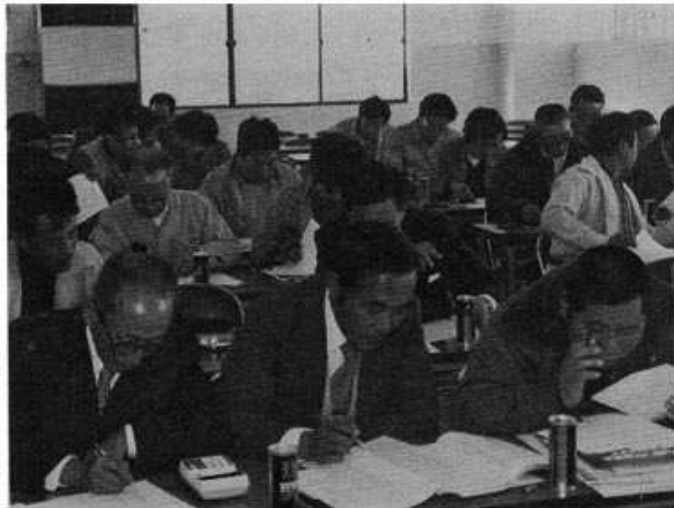
昭和52年2月認可となった  
電気共同保守管理業務「受託の証」

(13ページより)

- .....
- 52・4・6 「共同保守管理業務規程」承認となり同業務開始
- 53・3・17 臨時総代会開催  
(全日電工連政治連盟設立に対する加入について他)
- 53・8・3 「全日電工連政治連盟」発足(六〇八名加入)
- 53・10・28 三重県中小企業団体中央会より、優良組合として表彰を受ける
- 54・7 「住宅編」積算講習会第一回を各地区で開催(二四四名受講)
- 54・8 保守技術員追加認定講習会(一三六名追加認定)
- 55・2・16 全日電工連盟三重県支部発足(七七〇名加入)
- 55・2 「住宅編」積算講習会第二次を各地区で開催(一七四名受講)
- 55・9 同積算講習会第二回を各地区で開催

(二〇四名受講)

- 55・11 同第二次講習会開催(一三六名受講)
- 55・12・3 臨時総代会開催(委員会規約、事業者台帳作成規約、その他各)
- 56・2 規程、規則の整備制定
- 56・2 保守技術員更新講習会を八会場で開催(更新認定者、七三六名となる)
- 56・3 第二回登録更



正しい積算で新分野の拡大めざして...

新完了(四六〇件)

- 56・7・24 「積算入門書」指導リーダー養成講習会(各地区二七名受講)
- 56・8・56・9 「商店、ビル、習工場編」積算講習会開催(四日市、松阪会場)
- 56・10・6 三重県中小企業団体中央会県大会において優良組合として三重県知事表彰をうける。



ケーブル端末処理講習も熱心

### 会報の思い出

協力会、工業組合、それぞれが発足、事業の進展に伴って会員に対する広報活動もその時代を反映している。

まず協力会については昭和37年7月「三重県電気工事協力会報」が創刊され、現在事務局に保管されているものは昭和45年1月発行の15号までであるが、この間年2回の発行で、主として周知事項が主体となっ

ている。工業組合については、昭和42年7月、会報編集委員会によって第一号が創刊され「三重県電気工事業組合報」として解説を主に発行されている。現在事務局には残念ながら

4号までしか見当たらないがやはり年2回発行となっている。つづいて現在の「三重電気会報」として協力会、工業組合、合同会報が昭和49年8月創刊、昭和54年度から年4回発行として6月、9月、新年、3月の定期発行となり現在の20号を記録している。

## 記念特集号に寄せて

会員のみなさんから貴重な思い出、随筆をお寄せいただきました。

## 私の思い出

常任理事上野地区長 山本猛虎

創立三十五周年と立派な輝しい記念を迎へ電気工事協力会の特集号を発刊に当たり日常筆不精の私に、上野地区より何か投稿をと広報委員より依頼され、私にとっても三十有余年を振り返り反省や喜びや感謝感激を思い出すままに筆を走らすも意義ありと感じ又、会員皆様は何物かを感じて頂けたら幸に存じます。

昭和二十二年二月は、敗戦の傷跡も未だ消へず、あらゆる食糧物資は不足を極め感情も高まって居る時に電気工事業をやって見よと兄よりすすめられ協力会への加入申込を致しました。

先輩業者や、中部電力営業所の方々へ開業挨拶に廻りました時、一人の先輩がストーブにあたりながら「よし頑張れヨ・サアこれを飲め」といわれ、湯呑みに「ヨードチンキ」を入れて番茶でうすめて酒の無い時の乾盃か何かの「かため」の盃か分りませんが、海軍の飛行機乗り時代終戦前後、飛行機のガソリンを抜いて火をつけ水でうすめて飲まされた経緯はありましたが「ヨードチンキ」には驚かされました。ちかごろの辛口のお酒はどうの、ウイスキー、ブランデーで水で割ればアメリカンとテレビのCMで放映されておりますが、酒のない時代と違い大変なものです。

材料は、たまに津から一人材料の運び屋さんが来られました。殆んど大阪へリニックスバックを背おって買い出しに行きました。

朝六時前から汽車の切符を駅で並んで手に入れ乗る時は、何時もガラスの無い窓から頭から飛び込み湊町の駅へ着いたら又帰りの切符を買うため二時間程並び待ちます。二、三人前で売切れると次まで又、二時間程並び切符を、先ず買ってから仕入に行きます。

ノップ・クリート・ローゼットその他磚子類のリニックスバックを背おい伊賀上野駅の階段を、歯をくいしばり、くいしばり昇り降りした苦労の材料仕入れでした。今では、材料屋さんから配達して貰い、ボロクソに怒ったり、気ままをいって居りますが、当時は仕入れに行く時も米等を持って行き、少しでも材料を売ってもらおう様頼み、腹巻きに現金を入れて今日の材料代ではなく、今度の分として前金を置いて頼んだものです。小言がいて、百二十日先の約束手形で買える今とは大変な違いです。仕入れて来た二種電線を使い、商店会から頼まれた看板灯取付工事で軒先から架空で張った工事が終って二、三日経ってから雨が降りその架空の電線が裸銅線だけになり、被服がスダレの様に片方にぶらさがって居りました。よく見ると被服は、紙のヨリで出来ていてその上にコルターを塗った電線であったり、家庭電灯の増設で、天井配線に銅線でなく鉄線を被服してあった電線を使った工事を見て苦笑した事は、今のビニール電線と比べ、思い出として記憶から忘れる事が出来ません。

乗り物は、全てタイヤ当てした自転車、前に書いた磚子類を闇かごに入れモーターを車にはさんで地道を走り、山道でバンクに合い自転車を引き仕事に行つたものです。

田舎へ行って、仕事が終わる工賃と御祝儀に、米や芋、炭、野菜をもらいその上夕食を頂き、意気揚々と夜の道を磚管等の音も高々に無事帰宅出来た時こそ電気屋をしようとしたナアと喜びの心で一杯でありました。

当時「電気屋さんか神さんか、天皇陛下の申し子か」といわれた時代ではなかったでしょうか。

中電さんも当時は、賃上げのストや、電力不足で停電の多い時で夏の高校野球も聞けず警察や病院等へ一部送電中の所から内緒で引かして貰う様頼みに行き叱られたり、又津の故鈴木初代会長から中電の人が生活の為にストをするなら、協力の我々も生活の為に当時の流行の定額を従量にする切替工事を、メーターの出庫を待たず無断や無承認工事をせよという許可の指令で断行して、中電の所長から大目玉で叱られ仕末書を書かされ、面倒ですから勝手版で刷ってくると口答へして再度叱られた事等があり中電の方にも大変迷惑をかれましたが何か心温まる情が、今より厚かった様に思われますが、時代の移り変わりとお申しませうか。

創立三十五周年を迎へ、若干二十才で裸一貫で開業した私の昔の思い出は、未だ未だ数限り無く続きますが、この機に吾々電気工事業者は、材料屋さんや、又ゼネコンさんを始め一般需要家の方々に対する心の持ち方、経営のやり方等を反省し、も一度原点に帰るのも一策ではないでしょうか。

今は余りにもすべての物資、福祉関係、その他文化的にも恵まれ過ぎて居るのではないのでしょうか。

会員各位の益々の御繁栄と御多幸御健康を遠く伊賀地より祈念し、私の思い出の筆をおきます。

## 記念大会に憶う

津地区 蒔田正幸

一月二十日に湯の山で開催された理事会に於て協力が三十五周年、工業組合が十五周年の創立記念大会の開催案が会長より出された。この案に双手を上げて賛成したかったが五年刻みという点、又この世界的な不況の時に大金を費消してこの大会を開催することに

よって会員にどれだけブラスになるのか、上層役員一人よがりではなからうかの疑問が湧き何がしの抵抗を感じた。だが役員会では反対者もなく(意思表示のない人も多少あったが)可決されたが私と同様に思われた役員諸士も若干はあったらうと自負しております

す、然し可決された以上全面的協力が務めであること自覚し、再考してみた。先づ中部他県でも開催しているとなればこれもつきあいであること、協力会三十五周年、工業組合十五周年を足せば五十周年の半世紀になる(これは数字の上のこじつけ)、又永年勤続従

業員の表彰や、青年部の発足と国際障害者年にちなんだ記念事業も計画されていることとなれば会員の皆さんもきつと反対はされまいと自分自身を納得させた次第である。その後五月の定時総会に於ても大会に要する予算措置の説明もあり満場一致で議決されたこととはご承知の通りであり、年々会員数も増え協力会、工業組合とも内容の充実は勿論のこと渉外的にも權威ある団体として認識されてきたことはご同慶の限りであります。大会も間近に迫

り目下担当の総務委員会と事務局で万事手落のない様準備で大繁忙である。その労苦に心より敬意を表します。広報委員会に於ても会報二〇号を記念大会特集号として関連記事の投稿を一九号に記載し依頼しましたが、例によって寄稿者の少いのは遺憾の極みである。何れにしてもこの度の大会は二度とない記念すべきことであり外部の著名人を始め関係諸団体の来賓も多数予定されており、いわゆる「ショウ」的ならわべだけの大会ではなく厳肅な意義の

ある演出が必要であり、それを実行するのが我々の責務でもある。この二〇号がお手許に届く頃には大会も盛會裡にそして悔もなく終っていると思われるが何はともあれこれを契機に経営業能や規模も多種多様な会員によって構成されている協力会であり、工業組合であることを直視した上での運営を期待するものであります。

## 「思い出」

伊勢地区 牛場伊平

協力会35周年、工業組合15周年を迎え、思い出深いできごとを特集しよう……と広報委員会で集約された席上私はふと故郷、伊勢での電気工事に伴う苦しい、懐かしい思い出が浮かんだが何しろ二十数年前のこととて正確な記録もありませんが思い出すまま筆をとりました。

戦後をはじめの伊勢神宮第五十九回遷宮(昭和二十八年十月二日)が国民こぞって祝福されるなかで行われ、これを記念して翌年「お伊勢大博覧会(昭和29年3月31日～同5月31日)」が盛大に開催され、これが電気設備工事一切を当時協

同保守管理的業務についても、協力会としてお引受けいたしました。この経過については、今は故人となられました笠松支部長はじめ歴代の支部長、役員が常に市、商工会議所などと密接な連携を保ち伊勢市の電気保安確保に一致団結して活躍しておった実績を認められ、この大

きな事業の電気工事関係についても他の競合もなく特命を受けたものであります。さて工事概要ですが会場全般の電気ということ、約二〇〇の家用設備で総工費は約四〇〇万円であり、当時会員は約四十名であったと思います。高圧受電設備については会員中の大手四～五店が担当し、低圧配線、会場設備については他の会員で分担、開催中は会員が交互に会場常駐するという方式をとり全国から訪れる入場者に迷惑のかけられないよう電源確

保に努力いたしました。結果としては大きなトラブルもなく使命を果たした思い出は懐かしいものがあります。工事途中においては当時のこととて材料の不良品が多く完成までに取替え手直しを繰り返したり、変圧器についても自分達でさがし調達するなど、また構内配電柱についても思うように手に入らず、やむを得ず近くの山林から伐採して使用した苦勞など……わずかに二十数年前のこととはいえず、今思うと夢のようなことでした。

なおこの「お伊勢博」の電源確保工事の大きな実績がさらに引続いて開催された「伊勢参宮博」(昭和33年3月～同5月)においても同様の特命工事に結びつき、地元伊勢の電気工事については地元電気工事協力の組織で全うしたという満足感があります。時代が変わったとはいえ、この協力一致の団結の力の大きさは現代にも通じるものと確信しております。



祝協力会

三十五周年記念おめでとう

鈴鹿地区 出口 昭義

三十五周年と言いますと当鈴鹿地区でも組合員数はわずか当時四、五名ぐらいで私が加入した昭和二十七年では十一名でした、それが今では五十二名と組合員数もぐんと増えて組合会館も建設し、見違える様な立派な組合となりました。

三十五年前では、家もそんなに建築されず一軒でも建ったら我れがちに仕事の「かんゆう」をしたもので「その頃は別注でした」材料は、古い電線、碍子等はお粗末な物でそれも満足になく1.2mmの電線またはアルミ線等を使用したものです。メーターも一時は御客様で買っていただけ取付けました。また、メーター一台につき電熱器が電気釜を買

など、過去三十五周年をふり返りますと、その当時は電気屋と呼ぶ人はいなく、電気屋さん、さん付けで呼ばれてあがめられていました。今では「おい」電気ヤと呼ばれ、まるでごみ屑の様な扱いを受けているのが現在の姿である様な気がいたします。それはなぜかと言うと、過当競争がだんだんと、はげしくなり建設業者に弱くなったからだと思えます。この三十五周年を機会に我々業者もさらに結束して業会をもちたて、店の繁栄に一人一人が努力しようではありませんか。

私が父から聞いた話であるが、電気がついた或る日電灯の下で新聞を読もうとした時、そばにいた祖父が「あぶない！」と云って、はねのけたそうです。電灯もランプもきつと同じように思ったのでしようか、今も脳裏に残っている。

それから60年：人間の聡明な頭脳によって研究に研究を重ね生活を大きく進歩させてくれました。現在私達の家庭にはスイッチ一つで洗濯機がまわり、掃除が出来、電気ゴタツに足を入れないながらテレビの映画だっ

電気60年

亀山地区 (M・F記)

祝工業組合

十五周年記念おめでとう

鈴鹿地区 出口 昭義

鈴鹿電気工業協同組合のシンボルとして、かねてから念願の組合マーク作りを専念していたのが、このたび会員の考案により立派なマークが出来ましたので紹介致します。

組合員はこのステッカーを作業車全車に貼りつけて

います。貼っていない者は組合員外の者で一目でわかります。これからはこのマークをもとにお客様にどんなPRをしていこうと思っています。「信用と技術」「親切と迅速」「安全な電気工事」はこのマークの貼ってあるお店へどうぞ。



近年の電気需要の膨大さと同時に電気事業が消費する石油の膨大さはいうまでもありません。私達は資源のない国であることを忘れ、まるで資源が無限にあるもののように使ってきたことを反省しなければいけないと思います。

すでに日本でも原子力発電が運転され、更に各地に開発が計画されている今日今頃である。私達は原子力と聞けばすぐあのおそろしい原爆を連想してしまいません、そして公害は又危険ではないかと色々心配になります。そこでもっと原子力の安全性について皆にわかってもらわなくてはならないと思えます。

本年は省エネルギー対策として展開された緑のカーテン作りは、いよいよその効果が発揮され中電各営業所、各家庭でもアサガオ、ヘチマ等を作り冷房稼働の減少に貢献しているようです。電気需要の伸びつづける、限りある大切なエネルギーを上手に大切に使う。

祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
三重県電気工事業工業組合 創立15周年

総合電材卸

三菱電機(株) 松下電工(株) 日東工業(株) 立石電機(株)  
アイホン(株) 未来工業(株) 明工商事(株) ネグロス電工(株)  
丸一鋼管(株) 河合電線(株) 東輝電気(株) 岩崎電機(株)

# 三重菱電機株式会社

松阪市大黒田町300の2  
TEL代21-2662

伊勢営業所 伊勢市二俣一丁目3-5  
TEL 0596-22-0655(代)  
紀伊営業所 北牟婁郡長島町東長島中道586-2  
TEL 05974-7-4611

## — 営業種目 —

電設材料・高低圧電気機器  
計装工事材料・自動制御機器

## — 設計・製作 —

配分電盤・自動制御盤・計装盤

## Ⓜ 四日市名伸株式会社

四日市市南納屋町15-3  
☎ (0593) 51-2200(代表)

祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
三重県電気工事業工業組合 創立15周年

**TOSHIBA**  
-あかるい明日を技術でひらく-

# 中・小店舗の節電照明に...



●電気代が節約できて経済的です。

●ごらんください。  
**500㎡の店舗で**  
年間節電額 **40万5千円**

省電力率  
(償却約1.5年)  
当社比 **45%**



MESLコントロールとFS蛍光灯器具の組合せ

- ▲逆富士形 40W2灯  
FX-4231D 200H ¥20,900
- ◀MESLコントロール (FS蛍光灯器具専用調光器) 8A  
用MED2081A(B) ¥19,800  
他に4A用・16A用。

20%~100%  
ツマミ一つで明るさ自由に大幅節電!

## 東芝省電力照明制御器 **MESL** コントロール

●お問合せは...東芝電材機中部支店 省電力システム担当 〒460 名古屋市中区栄2-5-1(宝第一ビル内) ☎(052)203-5205

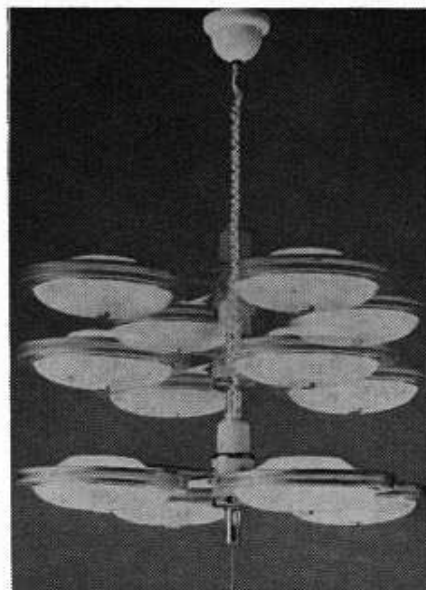


## 東芝洋風トータルシリーズ コスモステージ

薄形設計の  
サークデリア®

630~1100mm  
昇降自在です。

天井直付形も  
ございます。



サークライン30W形4灯

CD-440U **44,800円**

●HS省電力形安定器組込み

昇降自在形  
省電力形  
アクリル

## 電設資材総合卸

### 三重東芝電設(株)

- 本社 津0592-27-5311
- 桑名(営) 0594-22-4644
- 四日市 0593-53-7321
- 鈴鹿 // -83-4103
- 伊賀 0595-21-3731
- 松阪 0598-51-1414
- 伊勢 0596-28-0261
- 尾鷲 05972-2-1235

祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
三重県電気工事業工業組合 創立15周年

# 小さい掛金で大きな保証を

## ■入会するには

1. あなたの所属している電気工事組合等の事務所にお申込になれば入会できます。
2. 入会金等は不要で、年会費と掛金のみで即日有効です。



## 社団法人 東海電友共済会

本部 浜松市鴨江町97番地  
〒432 ☎0534-54-7340

# 財産づくりは〈野村〉

中部電力債をはじめ、国債、割引債、投資信託、株式など  
財産づくりの情報は、〈野村〉の窓口で……。  
ベテランの係員がお待ちしています。

お気軽に  
ご相談  
ください!!

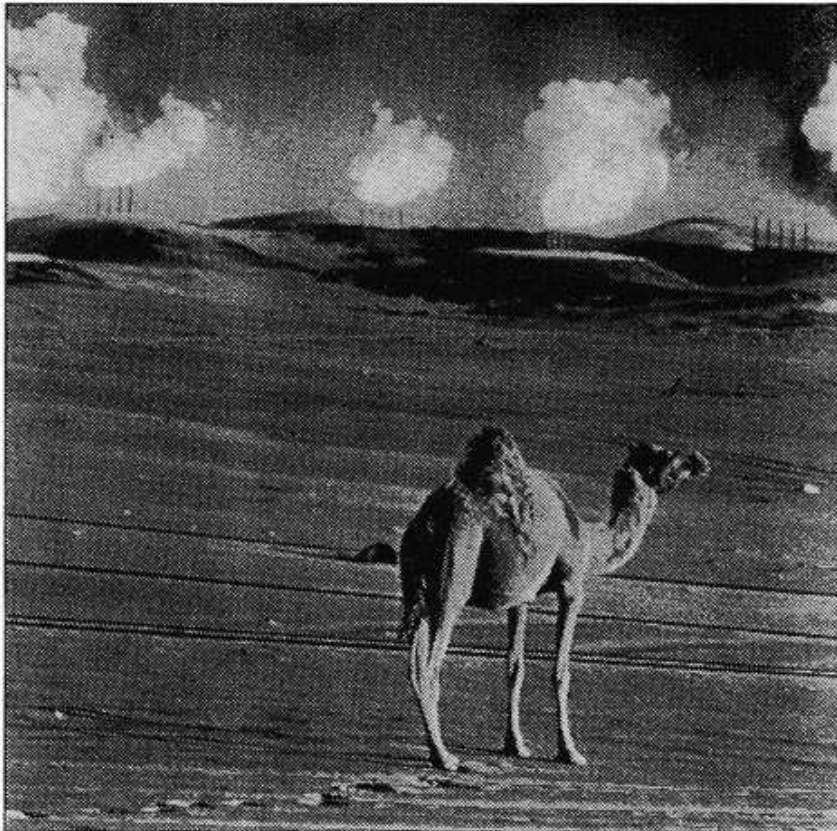


# 野村証券


四日市支店  
四日市市諏訪栄町1番16号  
(近鉄四日市駅前・国道筋)  
電話 四日市 (0593) 53-2141代

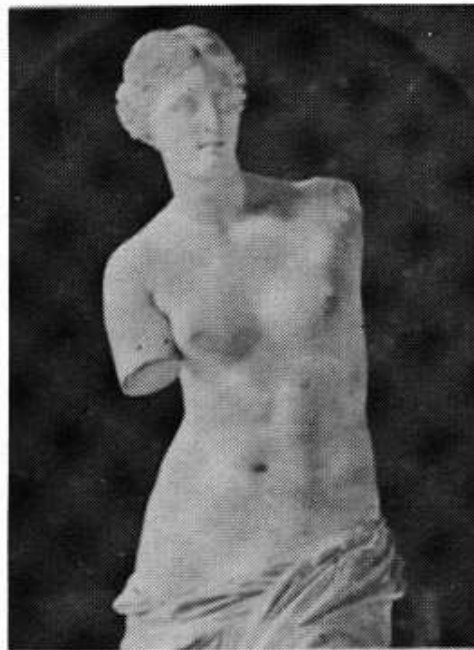


祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
三重県電気工事業工業組合 創立15周年



いつかは消えます、石油の火。  
限りあるエネルギー、石油。  
これからは、ますます大切に使うていかねばなりません。  
いま、中部電力も石油火力への依存を減らすため、  
原子力を中心に石炭火力の再開発、  
LNG火力の導入、水力の見直しなど、  
エネルギー源の多様化をすすめています。  
脱石油、その主力は原子力です。

 中部電力



私たちは、  
お客様の心を美しく  
紙の上に表現したい。



印刷のプロフェッショナル  
**伊勢出版**

〒514 津市大字藤方亀の越九七七  
☎0592(25)8212番(代表)

祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
三重県電気工事業工業組合 創立15周年

# つりがねマークの大東京火災

—三重県電気工事業共済会指定損保—

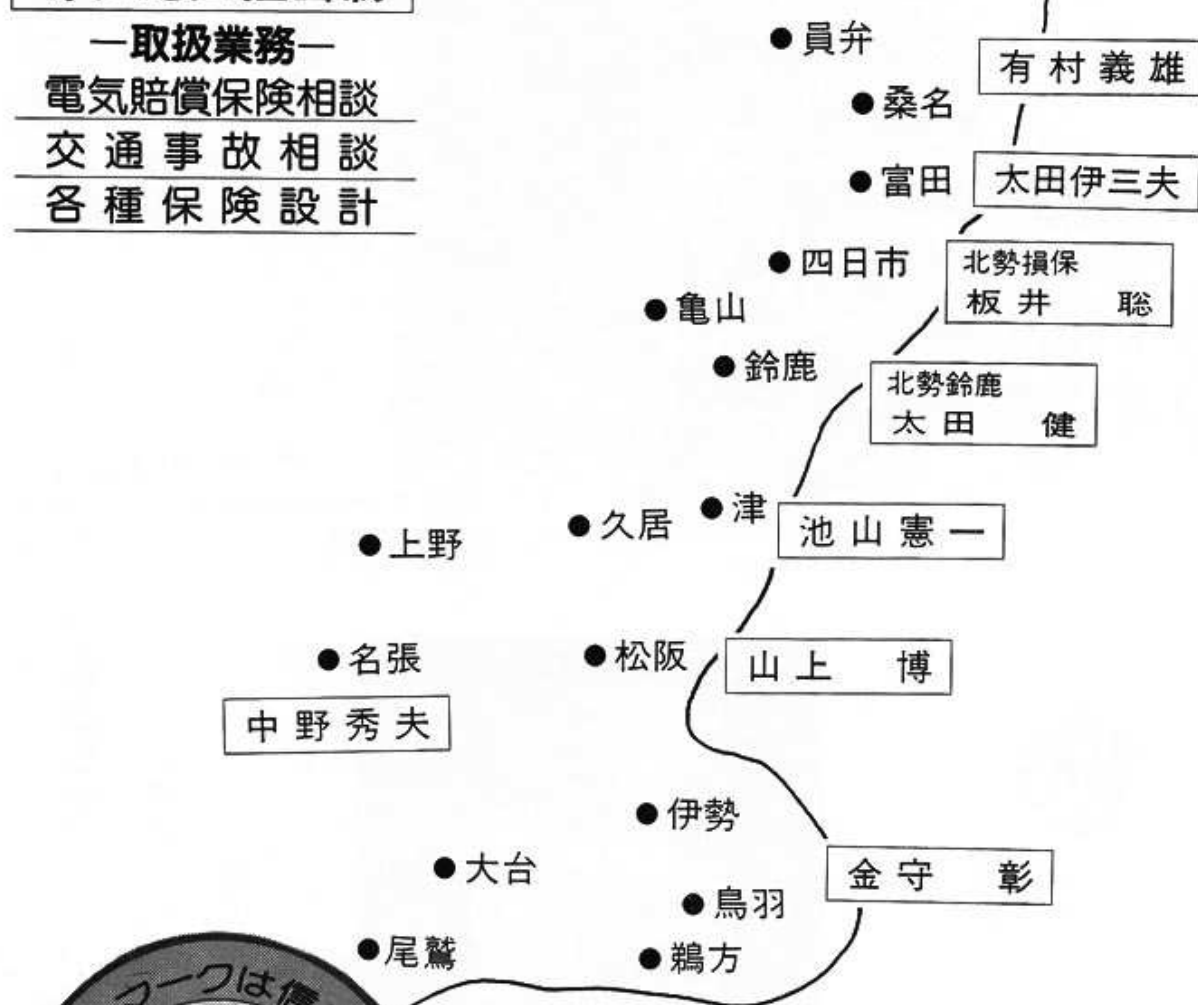
## 専任地区担当制

—取扱業務—

電気賠償保険相談

交通事故相談

各種保険設計



## —三重県下サービスネット—

四日市支店	〒 510	四日市々栄町1-11三井生命四日市ビル	0593-51-1668
津支社	〒 514	津市大門5-3	0592-27-7416
鈴鹿支社	〒 513	鈴鹿市庄野町3498	0593-78-7801
名張営業所	〒518-04	名張市栄町2935-25駅前ビル	05956-3-6315
伊勢営業所	〒 516	伊勢市神田久志本町字赤井1776-1	0596-23-5049
亀山営業所	〒519-01	亀山市東御幸町221-2	05958-2-9502
松阪営業所	〒 515	松阪市駅部田町字政所86-1	0598-26-4129

祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
三重県電気工事業工業組合 創立15周年

**National**  
松下電工

技術で創造する松下電工

# 集中管理ができる多機能複合防災盤

—防災設備から防犯・計時装置までナショナルの総合力をひとつの盤に結集しました。—

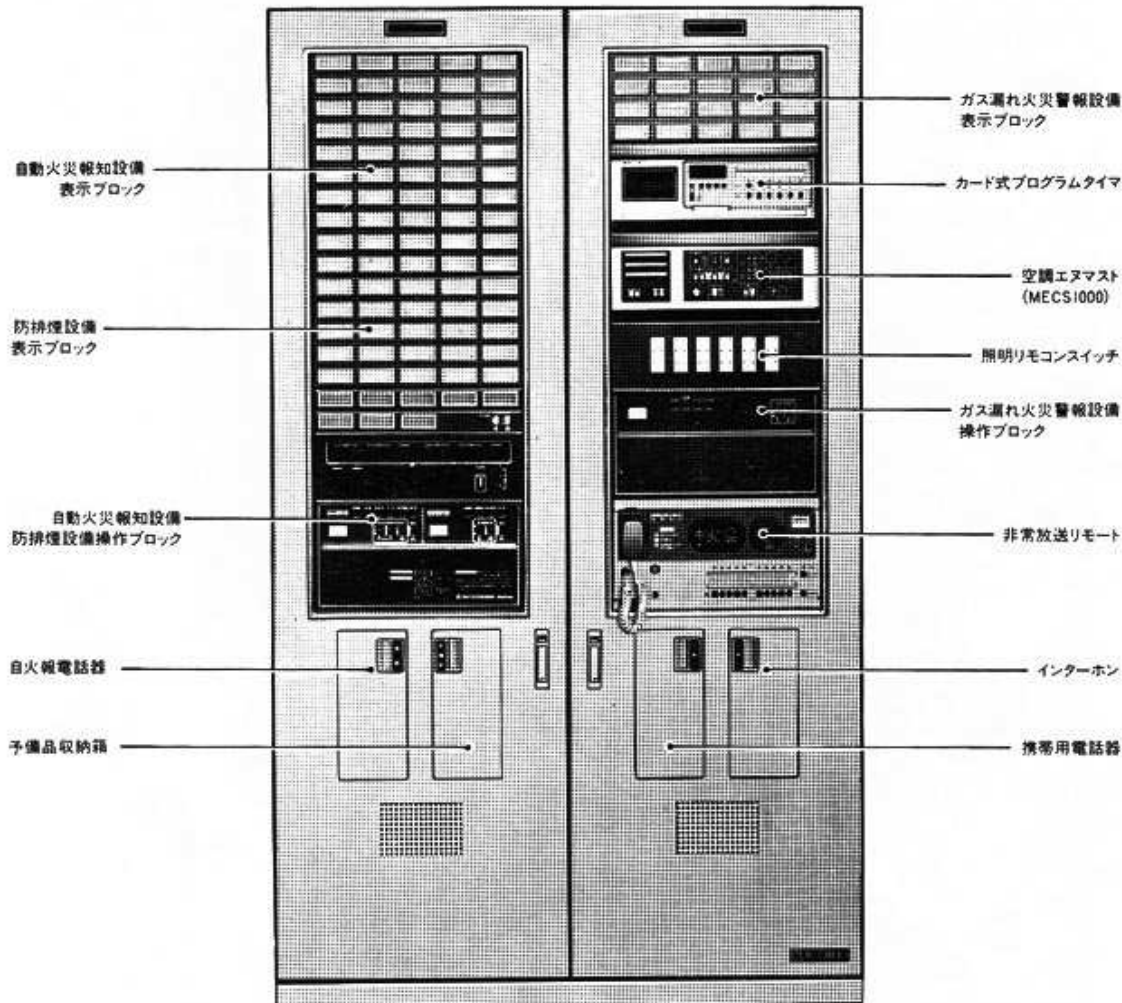
●組み合わせは自在です。

幅60×高さ200×奥行45cmの標準フリーラックに、モジュール化した機能別ユニットを自由に組み込める複合防災盤です。写真は2連モデルですが、設備規模に合わせて何連でも組めます。

●電気設備の機能を集中。

自火報・防排煙・ガスもれ警報・非常放送などの防災設備のほか、時報装置の付いた水晶親時計やベルタイマー・プログラムタイマー・トイレ節水システム・防犯設備の動作表示と操作・非常電

話・インターホン・給排水設備や空調設備などの動力監視と操作・照明器具のリモコン操作など、あらゆる用途に必要な電気設備の表示・警報・操作機能をそっくり組み込んでお届けできます。



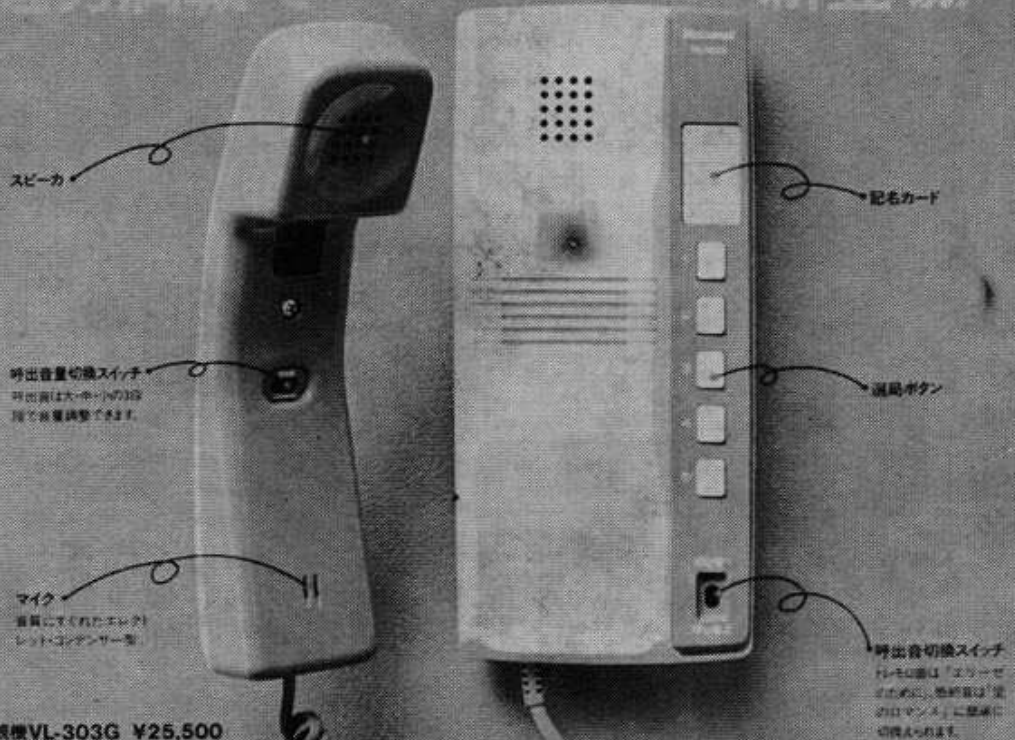
## ナショナル 多機能複合防災盤 専用モニター付

●お問い合わせは、松下電工・津営業所(〒514)津市大字藤方字茨子1652 ☎(0592)27-2251

祝 三重県電気工事協力会 創立35周年  
三重県電気工事業工業組合 創立15周年

インターホンはNational

並列4本配線 / 主装置は不要 /  
標準ケーブル採用 / ナショナルだけの  
強が実現 / 新登場!



機種VL-303G ¥25,500  
副機種VL-305G ¥12,500  
ドアホン子機VL-568G ¥4,600

NEW (電 三 一) 4形

松下電器産業株式会社  
中部設備機器営業所三重出張所

〒510

四日市市諏訪町四番五号  
(住友生命四日市ビル三階)  
TEL(0593)5110563

室内6カ所・ドアホン子機3カ所までOK!

インターホンに強力商品が新登場。室内間の配線を大幅に省線化。しかも主装置は不要。メロディコール・ドアホン自動通話方式・等々、ナショナルだけの魅力を満載。商品性はもちろん、工事性・サービス性もアップ。副機(兼子機)4形は、活性化する住宅用インターホン市場の需要喚起に、協力を展開する商品力を発揮します。

